

営農ウィークリーNEWS

あなたの田んぼは大丈夫？

トビイロウンカの発生に注意！！



株元を注意して観察して下さい！

トビイロウンカによる、坪枯れ被害

防除の目安は、株当り成幼虫が5頭以上です。

トビイロウンカとは

- 中国から偏西風に乗って飛来し、9～10月に多発するので、秋ウンカと呼ばれています。
- 成虫、幼虫がイネの株元付近で吸汁加害します。
- 出穂期以降に多発すると、急激に萎凋して枯れ、坪枯れ状態になります。
- そのままにしておくと、坪枯れの円が大きくなっていきます。

当 JA 管内の水稲圃場で、トビイロウンカによる坪枯れ症状が多発しています。昨年に引き続き、今年も被害が拡大しています。

トビイロウンカは、急激に増殖し、坪枯れを生じさせます。早生品種で、収穫期が迫り、薬剤防除が出来ない圃場は、収穫適期の範囲内で早めに収穫して下さい。

今後、収穫期を迎える中晩生品種では、発生状況に十分注意して下さい！

株元に発生を確認したら、直ちに薬剤散布による防除を行って下さい。

—TAC information— オススメ薬剤はこちら↓



発生を見たら、以下のような薬剤により防除してください。液剤散布の場合は株元に薬液が十分にかかるように散布してください。

農薬名	倍率、散布量(10a)	使用時期	回数	備考
スタークル顆粒水和剤	3000倍	7日前	3回以内	カメムシ類2000倍
ダントツ水溶剤	4000倍	7日前	3回以内	*
トレボン乳剤	1000～2000倍	14日前	3回以内	カメムシ類2000倍
スタークル粒剤	3kg	7日前	3回以内	*
ダントツ粒剤	3kg	7日前	3回以内	*
キラップ粒剤	3kg	14日前	2回以内	*
スタークル豆つぶ	250～500g	7日前	3回以内	*

*カメムシ類との同時防除

注 意 報

2 病 第 2 0 号
令和 2 年 8 月 2 6 日

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病虫害発生予察注意報第 3 号

作物名 水稲（中晩生：ヒノヒカリ、京の輝き、祝、新羽二重糯）
病虫害名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 府内全域
- 2 加害時期 収穫期まで
- 3 発生量 平年比多い
- 4 注意報発令の根拠

- (1) 8月中旬の巡回調査で、平年比多い発生を認めた（+）。
- (2) 8月中旬にトビイロウンカの緊急調査を行った結果、トビイロウンカ成幼虫（写真 1、2）を12ほ場（山城：7、南丹：3、中丹：2）で確認した（表1）（+）。
- (3) 7月第4半旬～8月第3半旬までの予察灯調査では、京田辺市で4頭（平年：0.1頭）、亀岡市で1頭（平年：0.0頭）、京丹後市で3頭（平年：0.0頭）の誘殺を確認し、平年比多い（表2）（+）。
- (4) 向こう1か月の平均気温は高いと予想されている（+）。



写真1 トビイロウンカ長翅型成虫



写真2 トビイロウンカ短翅型成虫と幼虫